

「foxface」について

2009年11月29日投稿

神奈川同窓会会員：永井 藤樹

foxface、実はあれは「花」ではなく「実」なのです。でも花やさんで売っているので「花」といってもよいでしょう。

「ナス科」の植物なので、花はナスの花と同じように、紫色の細長い花弁です。ナスと同じとはいえ、有毒なので食用にはなりません。

南米が原産で、数年前から観賞用に花やさんに置かれるようになりました。

葉はハート形で、果実が卵型に突起がいくつか付き写真に見るように狐顔になることから、フォックスフェイスの名前が外国から入りました。

「キツネナス」とか「ツノナス」とも、カナリアに似ているから「カナリアナス」とも呼ばれます。

売る時や花瓶に挿す時は、葉や余分な枝を除いてありますので、水の必要がなく空瓶です。我が家の foxface は9月末からで、まだまだ大丈夫な感じですが。一種のドライフラワーなので、一年大丈夫という人もいます。

背丈は2mを越し、根が半径1m程に延びるので鉢では無理。栽培方法は難しいですが、取りあえず書いてみます。(私たちも試行錯誤です)

どの植物もだいたい同じですが、日当たりがよく水はけのよい土地を好みます。4月初め温室で種蒔きし、



35℃以上になると発芽します。日本で栽培できるようになったのは、温暖化の影響といわれます。花が5月中旬から下旬に咲き始め、実は9月中ごろ付き始めます。実が5～6個付いたら、生長点を止めます。1年目は大抵失敗します。小さな実がごちゃごちゃと沢山付きますが、なかなか大きくもならないし、色付きもよくありません。写真のものは1年目ですから、かなり成功した方だと思っています。終わったら、地際で伐り越冬させて、翌春発芽したら成功です。

私たちはこれを保土ヶ谷区狩場町にある「農と緑のふれあいセンター」が11月3日に行なった「農業祭」に合わせて「花班」の要請で作りました。

花やさんでは小さな foxface が 15,6 個付いて、1000 円ぐらいです。写真のものは大きいので 3 個付いているだけです。500 円はすると思います。販売は「花班」が担当したので、いくらで売ったか知りませんが、販売代金のいくらかを戴き、来年の野菜の種代にしました。珍しいからか、安いからか全部売り切れたと聞きました。今どうやって越冬させたらよいか思案中です。

以上